病いや障がいと闘う子どもたちにアートと学びを！

認定 NPO 法人スマイリングホスピタルジャパン News Letter 第 30 号

発行：2021 年 9 月15 日 東京都杉並区永福 4-1-9 1-B「スマイリングホスピタルジャパン事務局」
Tel/Fax: 03-6379-0028 E-mail: info@smilinghpj.org
HP : www.smilinghpj.org

「オンライン訪問」を通して活気を取り戻したい！

参加型活動をオンラインで行う難しさを少しずつ克服しながら、アーティスト、スタッフ一同、試行錯誤を重ね、新しい活動の形を工夫しています。互いに画面の向こうの笑顔に会える、子どもたち一人ひとりとコミュニケーションが取れる、そんなオンラインの良さを zoom を通してアート活動に生かしています。
今号もスマイリングホスピタルジャパンの様々な取り組みをご紹介します。

もくじ

1 2021/6 月～2021/8 月トピックス …2
2 温かなご支援ありがとうございます …2
3 オンライン訪問報告 …3
4 オンライン研修会を開催しました …4
5 SHJ 子どもとアート研究会では …4
6「SHJ 学びサポート」新学習支援員のメッセージ …5
7 SHJ みんなのバリアフリー教材カタログ紹介 …5
8 SHJ アート＆学びサポートセンター日記 …6
9 連載漫画ろてんちゃん vol.15 …7
10 編集後記 …7
11 団体概要アップデート …8

みなさまからのご支援は、アーティストの抗体検査、謝金などの貴重な活動費となります。
引き続き、大切に使わせていただきます。今後とも変わらず応援くだされば幸いです。

年間サポート会員、マンスリーサポート会員ご入会・ご寄付お待ちしています！
マンスリーなら月々500 円（年間 6,000 円）＝およそ活動 1 回1名分のアーティスト・学習支援員謝金＝平均 20 人の子どもに笑顔をプレゼント。詳しくは添付のチラシやホームページをご覧ください。
＊認定 NPO への寄付（SHJ サポート会費も含まれます）は税制優遇の対象になります。
詳しくは、SHJ ホームページ「認定 NPO について」をご覧いただくか、所轄税務署にお尋ねください。

■2021/6～2021/8 トピックス

- 6/　5　神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設とオンライン訪問を開始しました。
- 6/　8　中日新聞朝刊長野版にて活動が紹介されました。
- 6/　9　代表著書「夢中になれる小児病棟」が刊行されました。
- 6/　9　メルマガ第7号を配信しました。
- 6/ 12　**オンライン SHJ 全国研修会を開催しました（報告→）。**
- 6/ 15　ニュースレター第 29 号を発行しました。
- 6/ 21　オンラインイベント「調和塾」に代表がゲスト出演しました。
- 7/ 27　メルマガ第 8 号を配信しました。
- 7/ 28　**神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設へオンライン訪問しました（報告→）。**
- 8/　9　メルマガ第 9 号を配信しました。
- 8/ 13　**日大板橋病院へのオンライン訪問を開始しました（報告→）。**
- 8/ 19　**ハートっ子土浦へのオンライン訪問を開始しました（報告→）。**
- 8/ 26　神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設へオンライン訪問しました。
- 8/ 29　ラフコネクト主催オンライン対談イベントに代表がゲスト出演しました。

温かなご支援をありがとうございます！

Amazon みんなで応援プログラム

このプログラムは、物資の支援を必要としている団体・施設・個人を、Amazon.co.jp を通じてサポートするシステムです。それぞれの支援先が作成した「ほしい物リスト」から商品を購入することで、物資の支援が行える、というもの。

SHJ は「ほしい物リスト」に、コロナ禍で必要とする衛生用品をリストアップしていて、SHJ アート＆学びサポートセンターへたくさんの品物が寄せられています。

ご支援くださっている方へ、この場をお借りしてお礼申し上げます。

認定NPO法人スマイリングホスピタルジャパン
（東京都杉並区）

認定NPO法人スマイリングホスピタルジャパンでは、この4月～重度障がいの子どものための学習室を開設することになりました。これに伴い、利用者の方向けのコロナ感染予防対策、および効果的な学習推進のために必要なものをご支援いただきたいと考えています！どうぞよろしくお願いします

ほしい物リストで応援 ›

ちくちく会様より、素敵なプレゼント！

闘病を頑張っている子ども達へと、折り紙やフエルトのマスコットをたくさんいただきました。
胴が伸び縮みする「はらぺこあおむし」の折り紙は、可愛いらしいだけではなく、動かして遊べます。
病室で頑張っている子どもたちに届けてまいります。

～オンライン訪問～
SHJ アーティスト お話ライブ ＠ SHJ スタジオ

「 歌のゆうこお姉さんと翔太お兄さんと一緒に歌おう！」
7/28 神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設“ひだまり”

「久しぶりに会えたね～」とお姉さんたち。子どもたちは、カラフルなデコレーションの上に「だいすき～！」「会いたかった～」などのメッセージを書いたうちわを振って迎えてくれました。その一体感たるや、リアルライブさながら。 この模様は、重心施設(ひだまり)HP の「ひだまり BLOG」にも掲載されています。 https://jyuusin.kcmc.jp

「 ゆかりさんととみちゃんのお話会」
8/13 日大板橋病院

声優の平沢ゆかりさんと冨田泰代さん、スマホジちゃん、そして相棒エビフライぴー子によるお話ライブ。おしゃべり、クイズ、個別のお誕生会など、参加者14名、一人ひとりとコミュケーションをとることができました。参加人数や年齢が、実際の訪問の時と同様、その時にならないとわからないなか、数ある引き出しの中から即座に場にあったプログラムを取り出し、鮮やかに演じます。その技術と機転の良さ、クリエイティビティは、さすが！プロ！

「 Satoko&Salt の音楽とともに楽しく過ごそう！」
8/19 ハートっ子土浦

シンガーソングライターの Satoko ＆ギタリスト・パーカッショニスト Salt のサンバ、ボサノバ、そして三線演奏を交えた沖縄の音楽は開放感たっぷり。季節を感じさせるダイナミックなライブになりました。茨城にちなんだ即興“納豆ソング”も飛び出し、楽器クィーカの手作りワークショップコーナーもあり。画面の向こうのたくさんの笑顔に会えました。

「 ゆかりさん・とみちゃんのお話会」
8/26 神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設“ひだまり”

オリジナル作品の読み語りとおなじみ“変顔”の連続で笑いを誘いました。手作りうちわを振っての声援にアーティスト大感激！一体感の中でライブが進みました。カメラの位置によって話す相手と目線が合わないこともあり、スピーカーとギャラリービューの切り替えに工夫が必要、という課題も見つかりました。音量とノイズについてもまだまだ改善の余地ありです。質の向上を追い続けます。

オンラインでもオンサイトでも変わらないのはプロならではの技の多さと環境に合わせた工夫、そしてとびっきりの笑顔です。オンラインでは、なじみの顔と画面越しに会えて、対話もできる･･･子どもたちにとって新しいワクワクが生まれたようです。ワクワクと伸びしろを実感しながら、ライブ後は現場スタッフと活動の振り返りをします。もっと聴きやすく観やすく、そして楽しいライブづくりを目指していきます。

訪問ができるようになっても、遠くの地区にも届けれらるオンライン活動は続けていきたいと思います。この新しい試みが将来への希望につながるように、子どもたちの笑顔を原動力にアーティスト、スタッフ一同、試行錯誤を続けます。

オンライン全国交流・研修会を開催しました！

SHJ ではこれまで毎年、アーティストやコーディネーター、事務局が一堂に会して研修交流会を開催してきました。年に一度全国から集まるこの機会はとても貴重ですが、昨年は新型コロナウィルスの影響で開催することができませんでした。

今年もまだまだ感染終息が見えない中、6 月 12 日(土)に zoom を利用して、3月にオープンした新事務所を起点としたオンラインでの研修会を実施しました。

まず事務局から年度の決算について報告の後、リアルな活動が制限される中での昨今のオンラインによる活動について、また代表の松本の著書「夢中になれる小児病棟」の紹介、そして SHJ 子どもとアート研究会の立ち上げのお知らせなど、最近のトピックスについてお話しました。

そして今回の研修会ではお二人の専門家にご講演いただきました。
一つ目は、日本大学板橋病院小児科の医師で SHJ 理事、平井麻衣子医師から
「病院ボランティアに必要な感染対策」と題してご講演いただきました。
続いて、株式会社第二映像企画の代表の宮本裕一氏より「動画プレゼンテーション」
についてお話をお聞かせいただきました。どちらの講演も、今の SHJ のアーティストや
コーディネーターにとって非常にタイムリーかつ有益な内容でした。

感染症に細心の注意を払って治療に当たらなければならない、医療現場の第一線で活躍されている平井さんのお話には、病院ボランティアが留意しなければならないポイントがいっぱい。最後には、手指消毒の正しいやり方をレクチャーいただき、参加者全員で実際に手指を動かして学びました。

また、宮本さんの「動画編集の技術云々ではなく、誰に何を伝えたいか、その気持ちが大事！」というお話は、強く印象に残りました。当日の夜 7 時まで、メールでの無料相談会を設けてくださるという特典まで付けていただき、一同深く感謝。

回線トラブルによる中断など、オンライン開催ならではのハプニングもありましたが、講演後には参加者から活発な質疑応答もあり、盛会のうちに終了しました。
来年こそは、一堂に会してのリアル開催ができることを心から願います。

「SHJ 子どもとアート研究会」では・・・

～アートを介したコミュニケーションを通して、闘病中であっても自分らしく夢中になれる時間を！～

この研究会では月に 2～3回の zoom ミーティングを通して活発な交流を行っています。
参加者を随時募集しています。
詳しくは「SHJ 子どもとアート研究会」サイトへ： https://smilinghpj.org/artforkids/

SHJ 学びサポート、新学習支援員からのメッセージ

在宅訪問「SHJ 学びサポート」学習支援員　奥山　敬

４月から学びサポートに加わらせていただいた奥山です。3 月まで特別支援学校で訪問教育を担当していました。教員生活最後の 5 年間に在宅訪問教育を担当して、2 時間じっくりとお子さんと向きあう中でとても多くのことを学ばせていただきました。多様な制約に直面しているように表面的には見えるかもしれませんが、おひとりおひとりのお子さんの学ぶ意欲や興味が深いということを教えてもらいました。このことは何物にも代えがたい宝物だと強く思っています。

多様な制約に直面しているお子さんに対して、最初から「わからないだろう」と思い込んでしまったら、子どもたちは「それ好き」「知りたい」と伝える機会を失ってしまいます。このことが最も大きな困難さであると今は考えています。「わからないだろう」という思い込みにとらわれると簡単そうなことだけしか提示してもらえなくなってしまうかもしれないからです。

そして、多様な制約に直面しているお子さんを支援する上での基本的なマナーについて学んだことが、思い込みから脱する大きなきっかけになりました。私たちのように何気なく見て状況を把握することが難しい可能性がある場合には、丁寧に予告して状況説明することが大切であることを学びました。特に「どこ」「なに」「だれ」については重要だと。実際に取り組んでみると私の拙い説明によく耳を傾けて嬉しそうにしている様子がすぐに伝わってきました。この取り組みを通して年齢相応の興味ということから出発したほうがよいということを学びました。

この学びサポートで私が胸をお借りしているお子さんたちからも、それぞれ、歴史に興味があったり、数学に自信を持っていたり、コミックを読みたかったり等の興味の一端を教えてもらうことができました。それらの興味に応えていくことを通して、更に興味が宇宙のように広がることのお手伝いができればと思っています。

みなさんの興味を支えていく上で、私自身がその年代の時に退屈に思えたり、主体的な興味を失ったような勉強の仕方は一度スクラップするように心がけています。記憶と点数のための勉強では記憶の痕跡も残っていないことが多いし、何よりも学ぶ喜びを置き去りにしているかもしれないと思っているからです。

そこで、お子さんの興味の出発点になったことの周囲もよく調べ、何かハッとするような、「なになに？」と身を乗り出してしまうようなことを探すようにしています。その過程でお子さんからたくさんの教えを受けています。そういう意味ではお子さんが師匠、メンターそのものだと思っています。

お子さんの教えを受けて、減法を Keynote の画面でわかりやすく示す方法を見つけ、漫画本を読めるようにするにはどうすればいいか調べる力を授けてもらい、自分が学生の時には触れることができなかった歴史の面白さやつながりを知り、英語を聞き取るモチベーションを主体的に高める手立てについて、切り口を見つける喜びを一緒に感じています。

この社会が陥っている「思い込み」を軌道修正していくことも、師匠である子どもたちから請け負った大きな役割だと思っています。

SHJ「みんなの教材カタログ」ができました！

教材は SMILING STORE にて販売しており、その理念をトップページに載せています。

“子どもたちは夢中に取り組む姿でその有用性を伝えてくれる共同開発者です。スマイリングストアで販売している教材は子どもたちに鍛え抜かれた選りすぐりのものばかりです。教材の素晴らしさを多くの方に体験してほしいと願っています”

このたび、教材のカタログを作成しました。大好評の教材図鑑と合わせてご活用ください。カタログ請求は info@smilinghpj.org まで。お待ちしています。

SHJ アート＆学びサポートセンター日記～

3月にオープンしたこのセンターで何が展開されているのかご紹介します！

■お孫さん誕生のお祝いにバリアフリーみんなの教材“回転オルゴール”とスマホジちゃんをセットでお買い上げくださったお客様が・・・

ここのおもちゃは木やオーガニックコットンでできているから絶対にいい！と言ってお孫さんにお買い上げくださった高齢の女性は、自然素材のおもちゃで育ち、それをそのままお嬢さんにも使わせたそう。「プラスチックと違って程よく重量感があるでしょ。手触りもよくて、使うほどに味が出て何代にもわたって使えるのよね～」と。プレゼント用にラッピングしてお孫さんのもとへお届けしました。

■アーティストオンラインライブスタジオとして・・・

SHJ の活動は参加型の音楽、お話、マジック、ものづくりなど。双方向のコミュニケーションは、参加型アート活動に欠かせない要素です。互いにやりとりができるオンラインシステムはコロナ禍において欠かせないツール。音質や音量、カメラの角度や距離の機動性などの課題に向けて試行錯誤中ですが、確実に質が高まっていることを実感しています。

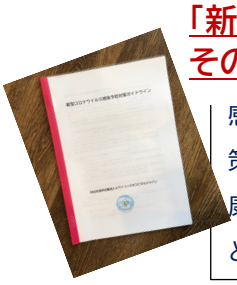
もう一つの大きな課題は、センターは14畳ほどととても狭く、目的に応じてレイアウトを変えながら運用する小さなスペースだということ。「SHJ 新型コロナウイルス感染対策ガイドライン」に則り、密にならないようになど、限りある空間の工夫は続きます。

■教材作成工房にて、「バリアフリーみんなの教材」の研究、製作を行っています。

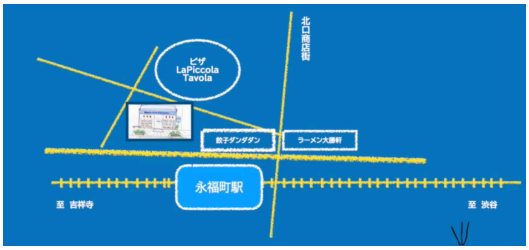
在宅学習支援で使用しているオリジナル教材は大変好評をいただき、特別支援の現場やご家庭よりお求めいただいています。

このたび、**カタログ**を製作しました(→P.5)。「みんなの教材図鑑」と合わせてお手にとっていただけたら、教材のラインアップをより詳しくご覧いただけます。

■アート＆学びサポートセンターでは「新型コロナ感染予防対策ガイドライン」を設置しその内容に則り活動しています



感染防止のための基本的な考え方や位置付け、感染予防対策の体制、そして具体的な予防対策としては、スタッフの健康管理と事務所勤務に関しての様々な措置、来訪者対応などについてもまとめています。



杉並区永福 4-1-9 エイジアームズ 1-B
京王井の頭線「永福町」下車徒歩 1 分
03-6379-0028

連載漫画　ろてんちゃん　その16　～造形アーティスト　三輪ゆうこの日常・・・

著書紹介！

「夢中になれる小児病棟～子どもとアーティストが出会ったら～」

― 「今」に没頭する時間が、子どもを、親を、病院を変えた ―

病気や障がいのある子どもに、アートを届けるNPOから生まれた
変化と希望のストーリー（アマゾンサイトより）
アマゾンサイトには以下のような数々のレビューが届いています。

「リアルな小児病棟の現場のお話が書かれた本書から、日本の医療・福祉のあるべき姿を考えさせられる一冊」

「『アーティスト』のイメージを一新。コロナ禍の今だからこそ心に響く一冊」

「すべての不安を抱える人たちに」

たくさんの方に読んでいただくことが小児医療現場のさらなる改革に繋がりますように！

事務局から・・・　平日勤務に加え2足目のわらじを履き SHJ の発展のために奮闘する事務局の日常を軽いタッチで赤裸々に語るコーナーを始めました！

パラリンピック開催中は、連日日本代表の活躍が報道されました。
コロナ環境下での開催自体に賛否両論分かれているのは認識していますが、私はアスリートではもちろんありませんがこの東京パラリンピックに向けて色々なものを犠牲にしてきたパラアスリートのことを考えて密かな開催派でした。

パラアスリートの紹介を見たり聞いたりしていると聴覚障害だったり身体的障害があったりと様々ですがどうしたら勝てるかを自分らしく工夫しながら戦っているのが印象的です。障害を持ちながらも自分らしく努力していけばこのように花を開かせることが出来るんだと見せてくれ、勇気や希望と共に感動を貰っています。

小さな事かもしれませんがこのような機会から皆さんと一緒に勇気や感動を見つけて行けたらなと思います。

次は3年後のパリ大会です。パラアスリートの活躍はもちろんですが会場1つ1つのオサレさも今から楽しみです！

事務局　山口

●スマイリングホスピタルジャパン概要（2021年9月 10 日現在）

名称	認定 NPO 法人スマイリングホスピタルジャパン　（略称：SHJ）				
設立	任意団体として 2012 年 2 月 25 日　法人設立 2012 年 12 月 18 日　認定取得 2017 年 7 月 27 日				
所在地	〒168-0072　東京都杉並区永福 4-1-9 1-B　電話/Fax：03-6379-0028				
活動目的	入院児や社会福祉施設入所児・者及び在宅児・者を定期的・継続的に訪問して参加型の芸術活動及び学習活動等を提供し、豊かな時間と喜びを共有することで、闘病意欲や生きる喜びを持ち続けられるようなQOLの向上に寄与することを目的とする。				
事業内容	① 病棟や個室を訪問して芸術活動等を行う事業 ② 在宅児・者を訪問して芸術活動・学習支援等を行う事業 ③ 病院や施設のホール等で芸術鑑賞などの会を開く事業 ④ 普及啓発及び情報発信事業 ⑤ その他目的を達成するために必要な事業				
活動方針	・個別訪問　一人ひとりを大切に。 ・参加型活動　受け身ではなく子ども自身が主体的に。 ・定期訪問　見通しを持って活動を楽しみにできるように。生活にリズムを。 ・本物のアート　質の高いクリエイティブな活動を。				
活動場所 小児病棟：30 施設：15	**北海道・東北】**北海道大学病院 / 北海道道立子ども総合医療・療育センター / 石巻赤十字病院 **関東】**神奈川県立こども医療センター各病棟・肢体不自由施設・重症心身障害児施設 / 慶應義塾大学病院 /新宿養護学校内ひまわり HAUS / 重症心身障害児サポートなかのドリーム / 特定非営利活動法人みかんぐみ / 千葉県こども病院 / 筑波大学附属病院おしゃべり会 / 東京女子医大筋ジストロフィー親子の会 / 東京大学医学部附属病院 / 日本赤十字社医療センター / 同附属乳児院 / 日本大学医学部附属板橋病院 / 茨城県立医療大学附属病院 / ハートっ子土浦 / 千葉大学医学部附属病院 / 埼玉県立小児医療センター **中部】**あいち小児保健医療総合センター / 静岡県立こども病院 / 名古屋大学医学部附属病院 / 信州大学医学部附属病院 **近畿】**大阪市立総合医療センター / 京都大学医学部附属病院 / 児童デイサービス Primo チャイルド・ケモ・ハウス / 姫路赤十字病院 / 兵庫県立こども病院 / 淀川キリスト教病院こどもホスピス / 姫路聖マリア病院ルルド館 **中国】**県立広島病院 / 広島市立広島市民病院 / 広島県立障害者リハビリテーションセンター若草園 **九州・沖縄】**九州大学病院 / 久山療育園重症児者医療療育センター / 北九州市立八幡病院 福岡市立こども病院 / 久留米大学病院 / 沖縄県立宮古病院				
学びサポート	東京都内 12 カ所		事業年度	10 月 1 日～9 月 30 日	
年間活動数	253 回（2019 年度実績）		参加者数	延べ 4,943 名（2019 年度実績）	
役員 事務局	代表理事　松本恵里　副代表理事　野間紀孝 理事　谷口明子　理事　平井麻衣子　理事　藤田城治　監事　車尾薫 事務局長　瀬戸山あゆみ　事務局　加藤孝佳　山口英一　野間紀孝				
地区 コーディネーター	北海道：米澤倫子　石巻：千葉淳子　茨城：五十嵐純子　千葉：北畠みゆき 長野：小倉輝久　東京・神奈川：松本恵里　静岡：鈴木知子　愛知：箕浦恭代 京都：田久朋寛　大阪：西　純江　兵庫：住野由佳子　広島：田中直子 福岡：田中絵理香　沖縄：神原紀美代　知明　学びサポート：松本健太郎				
アーティスト	160 名	活動アシスタント	19 名	学習支援ボランティア	7名
正会員	10 名	サポート会員	250 名　11 団体	事務局ボランティア	13 名
E-mail	info@smilinghpj.org		ホームページ	http://www.smilinghpj.org	
銀行口座	ゆうちょ銀行　名義：特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 記号：10090　番号：74039541　（他行から：店名 00 八　店番　008　普通　7403954） みずほ銀行　名義：特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 支店：浜田山支店　預金種目：普通預金　口座番号：1950697				
活動資金	会費　個人・団体からの寄付　企業協賛　助成金　主な使途：アーティスト謝金　抗体検査料　など				

協力いただいている企業様・団体様

このほか、たくさんの方からご寄付いただいています。個人寄付・サポート会員のお名前は、ホームページに掲載させていただいています。